

令和5年7月24日
政治家女子48党
代表（党首）大津綾香

（告知・公表）

債権者12名による貸金返還請求訴訟について

令和5年6月12日付にて、解任した前会計担当者・前監事の栗飯原美佳氏を含む12名の方々が村岡徹也弁護士を代理人とし、政治家女子48党に対して1億7,100万円の貸金返還を請求する旨の訴えを提起しました。

前党首・前会計責任者であった立花孝志氏は、自身のYouTubeチャンネルに於いて本党には333名の債権者がおり、10.4億円の負債があると説明しています。

党のこれまでの会計には様々な不明瞭な点があり、党ではこれを明らかにするための調査を進めていますが、その一環で、これらの債権に対する疑義も生じています。

また、一部の債権者に対する負債のみを優先して支払うことは、他の数多くの債権者の方々に対する不利益となる恐れもあることから、この1億7,100万円の貸金返還請求についてはその債権の存否を含めて争うことに決定いたしました。

なお、本件訴訟に関連し、廣井雅樹氏・外3名が9,700万円の債権仮差押の申立てを行い、6月23日付にて千葉地方裁判所による仮差押決定がなされたことから、7月20日付にて総務省より本党に交付予定であった政党交付金（83,607,500円）は、その全額が法務局に供託されております。

以上